

# 「大規模災害に備えて」公共施設の耐震化

東日本大震災においては、一般の建築物のみならず消防署や学校等の施設、病院、役場など公共施設も被害を受け、災害応急対策の実施や住民の方々の避難に大きな影響を与えました。その後も相次いで地震被害が発生し、地方公共団体における災害対応能力の向上が大きな課題となっています。そこで、地震等の大規模な災害が発生した場合においても、災害対策の拠点となる施設の安全性を確保し、被害の軽減及び住民の皆様の安全を確保できるよう、防災機能の向上を図るため「災害に強い安全なまちづくり」の一環として公共施設耐震化事業により「町民センター」「役場庁舎」「富士見小学校体育館」の耐震補強工事を実施します。

工事期間中は、皆様にご不便をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## ○町民センター耐震補強工事

問 生涯学習課 社会体育係 ☎62-2400

富士見町町民センターは、昭和52年の竣工で旧耐震設計により建設された建物です。そのため、平成23年度に耐震診断を行い、耐震補強工事が必要と診断されました。さらに、町防災計画では「災害時の第二次避難所」として指定されています。補強工事は体育館棟の東西壁面を各1箇所と、事務所棟の東西各1箇所の計4箇所に「ブレース」と呼ばれる補強材を外側から取り付け、耐震補強を行います。その他、体育室ギャラリー床の補強と、地震による天井落下防止工事や、外壁劣化箇所の耐震補強なども併せて実施します。

工事は外向部で施工する場所が多いため、可能な限り休館せずに進めたいと考えています。しかし、工事の進捗状況によっては体育室の休止期間をいただく場合があります。安全第一に工事を進めたいと考えていますので、ご理解ご協力をお願いします。なお、施設周辺の駐車場も使用禁止となる場合がありますので、町民センターをご利用の際は公共交通機関等をご利用いただき、混雑緩和にもご協力をお願いします。

【工事期間】 平成24年6月中旬～平成24年11月末

【当初予算】 町民センター耐震工事（1億230万円）



▲町民センター 体育室

## 富士見町町民センター





▲役場庁舎(北側より)



## 富士見町役場

役場庁舎(南側より)

### ○富士見町役場庁舎 外壁改修工事

問 総務課 管財係  
☎62-9325

昭和63年に竣工した富士見町役場庁舎も、建設から25年が経過し経年による劣化が見られるようになりました。

現在では庁舎の耐久性が低下し、特に外壁タイルの剥離・剥落が顕著に現れ、付近通行者に危険を及ぼしかねない状態となっています。そこで今年度は、庁舎南側（正面玄関側）の外壁を中心に改修工事を早期に実施し、町の防災拠点となる建物として「安全性の確保」に最も重点を置いた工法により、役場庁舎外壁の強化対策を講じます。

- 【工事期間】 平成24年9月～平成25年1月末（予定）
- 【当初予算】 富士見町役場庁舎外壁改修工事（9,594万円）

### ○富士見小学校体育館反響板落下防止工事

問 子ども課 総務学校教育係 ☎62-9235

第二次避難所となる富士見小学校では、体育館の天井に設置してある反響板を、「メッキ及び樹脂の固定バンド」により設置補強を行い、地震時の落下を防止します。また、体育館の電灯は昇降機が設置されていないため、足場を設置し併せて全電灯球替えを行います。

- 【工事期間】 契約日～平成24年8月31日（金）  
※学校の夏休みを利用して施工します
- 【当初予算】 富士見小学校体育館反響板落下防止工事（135万円）



▲富士見小学校体育館(南側より)



▲体育館天井の様子

## 富士見小学校体育館

